



1. 位置づけ(目的)

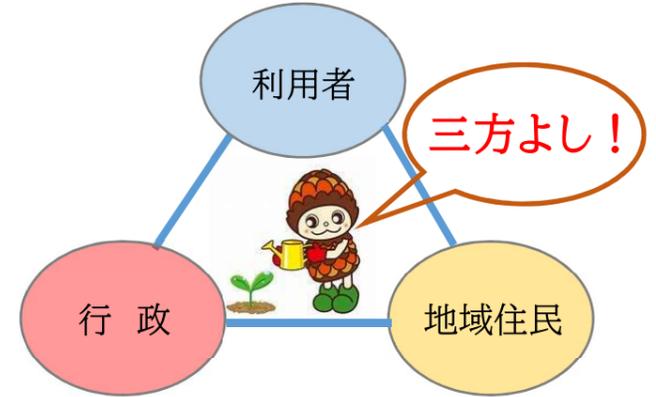
「今後の公園のあり方」は公園施設等の更新や維持管理について、今後どのような公園施策が必要かなど、公園利用者等の声を直接聞き取り、求められている公園像に基づき基本目標を取りまとめ、上位計画との整合を図りながら今後の公園施策の方向性を定めるものです。

上位計画

- (1) 第5次高砂市総合計画
- (2) 高砂市都市計画マスタープラン
- (3) 高砂市緑の基本計画
- (4) 高砂市公共施設等総合管理計画



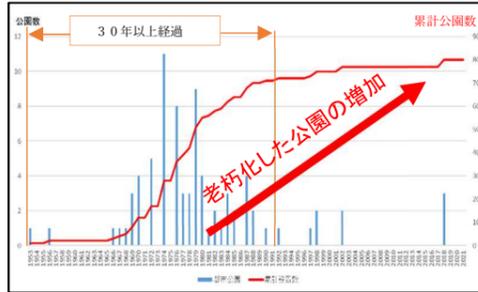
今後の公園施策の方向性



2. 策定フロー

公園を取り巻く問題点

・公園施設の老朽化と維持管理費の増加

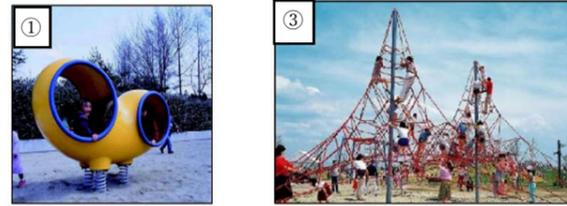


・新たな人口構造変化への対応

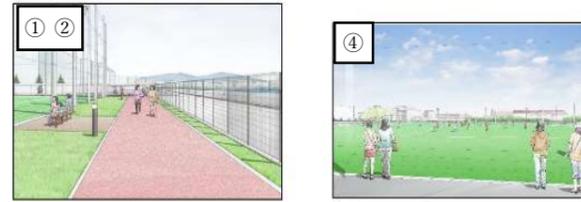


求められている公園像

- ① 幼児・児童向け遊具の設置
- ② 木製遊具の設置
- ③ 大型複合遊具の設置
- ④ 高齢者向けの健康遊具の設置



- ① 散歩のできる、歩きたくなる公園
- ② ベンチなどで休憩できる公園
- ③ スポーツ活動のできる公園
- ④ 地域コミュニティづくりのできる公園 など



(1) 世代に応じた公園

(2) 楽しみ、憩いの場としての公園

(3) 維持管理のできる公園

(4) 新しい形の公園

【基本目標】
だれもが利用したくなる
愛される公園

- ① 魅力ある公園づくり(地域再委託等)
- ② 公園ボランティアの支援・育成(トライやる・ウィーク等)
- ③ 市民参加の促進
(高砂市アダプトプログラム推進事業・ひょうごアダプト等)
- ④ 公園の緑化、芝生化(県民まちなみ緑化事業等) など



- ① ストック効果をより高める
- ② 民との連携を加速する
- ③ 都市公園を一層柔軟に使いこなす など

ストック効果をより高める

- 整備、面積の拡大を重視
- 都市公園の4割以上の増設
- 集約し、活かすことを重視
- 都市全体、まちづくり全体の視野での発想

民との連携を加速する

- 行政主体の整備、維持管理
- 市民やNPO等の主体的な活動を支援
- 民間施設との積極的な連携

都市公園を一層柔軟に使いこなす

- 総合的な都市公園の管理
- 維持管理の延長での公園運営
- 地域との合意に基づく弾力的な運用
- まちづくりの一環としてのマネジメント

地域の身近な公園の方向性

地域に密着した魅力ある公園づくり

- ・ボランティアの支援・育成
(トライやる・ウィーク等)
- ・市民参加の促進
(高砂市アダプトプログラム推進事業・ひょうごアダプト等)



(草刈りボランティア活動)

大きな公園の方向性

世代のニーズに合わせた公園づくり

- ・民間活力を活かした自由度を最大化した公園の最適活用
(指定管理者制度、Park-PFI 等)
- ・公園施設長寿命化計画に基づく計画的な公園施設の維持修繕
(社会資本整備総合交付金)



(キッチンカー)



高砂市公園利用アンケート調査

【調査概要】

- ・ 回答数 : 720人
- ・ 調査時期 : 令和3年10月6日(水)から11月10日(水)
- ・ 調査方法 : ○公園利用者等への直接聞き取り
○ホームページ等による回答

(職員による直接聞き取り)



(トライやる・ウィーク)